

人権啓発事業についてのアンケート集計結果

県では、平成13年4月に「滋賀県人権尊重の社会づくり条例」を施行し、すべての人の人権が尊重される豊かな社会づくりをめざして、人権に関する様々な啓発活動に取り組んでいます。今後、より効果的な人権啓発を行うため、アンケート調査を実施しました。

- ★調査時期 平成28年1月
- ★対象者 県政モニター 397 人
- ★回答数 322 人 (回収率 81.1 %)
- ★担当課 人権施策推進課

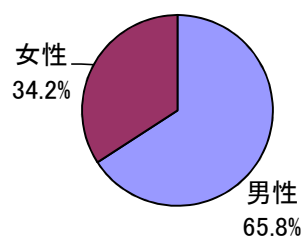
※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。

【属性】

◆性別

	人数(人)	割合(%)
男性	212	65.8
女性	110	34.2
合計	322	100.0

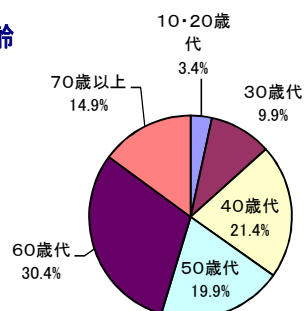
性別



◆年齢

	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	11	3.4
30歳代	32	9.9
40歳代	69	21.4
50歳代	64	19.9
60歳代	98	30.4
70歳以上	48	14.9
計	322	100

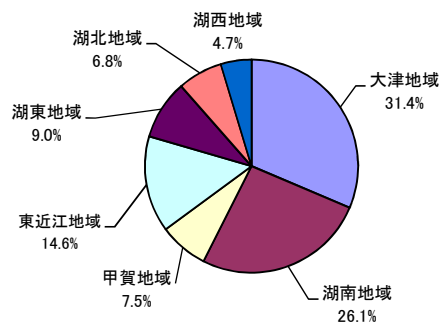
年齢



◆地域

	人数(人)	割合(%)
大津地域	101	31.4
湖南地域	84	26.1
甲賀地域	24	7.5
東近江地域	47	14.6
湖東地域	29	9.0
湖北地域	22	6.8
湖西地域	15	4.7
計	322	100

地域



問1

次の(ア)～(シ)の方法で行った人権啓発について、

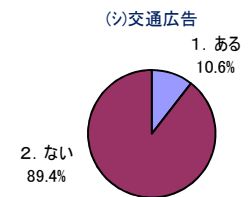
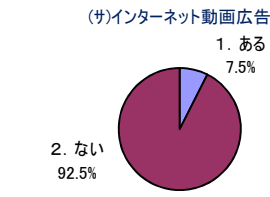
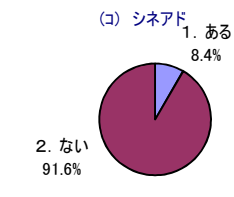
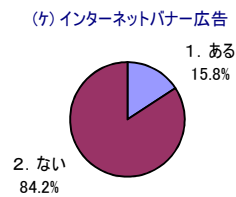
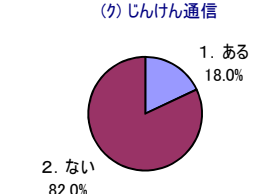
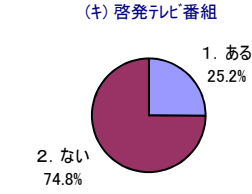
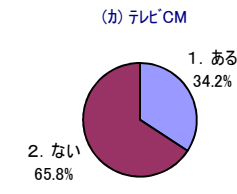
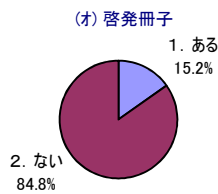
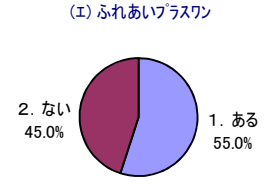
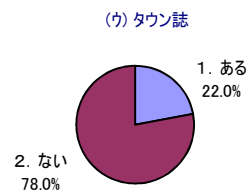
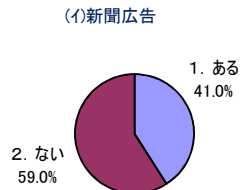
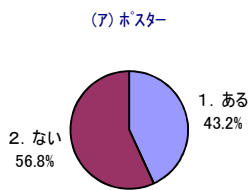
- (1) 今年度、これらを見たり聞いたり、または読んだりしたことがありますか。
- (2) (1)で「1. ある」を選択された方は、それが「人権」について考えるきっかけとなりましたか。
- (3) 今後もこのような啓発を行うべきだと思いますか。

(1) 見たり聞いたり、または読んだりしたことがありますか。

	(ア)ポスター		(イ)新聞広告		(ウ)タウン誌		(エ)ふれあいプラスワン	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. ある	139	43.2	132	41.0	71	22.0	177	55.0
2. ない	183	56.8	190	59.0	251	78.0	145	45.0
計	322	100.0	322	100.0	322	100.0	322	100.0

	(オ)啓発冊子		(カ)テレビCM		(キ)啓発テレビ番組		(ク)じんけん通信	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. ある	49	15.2	110	34.2	81	25.2	58	18.0
2. ない	273	84.8	212	65.8	241	74.8	264	82.0
計	322	100.0	322	100.0	322	100.0	322	100.0

	(ケ)インターネットバナー広告		(コ)シネアド		(サ)インターネット動画広告		(シ)交通広告	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. ある	51	15.8	27	8.4	24	7.5	34	10.6
2. ない	271	84.2	295	91.6	298	92.5	288	89.4
計	322	100.0	322	100.0	322	100.0	322	100.0

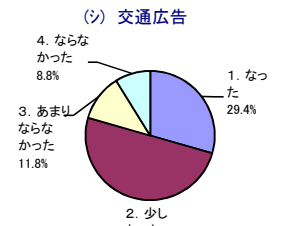
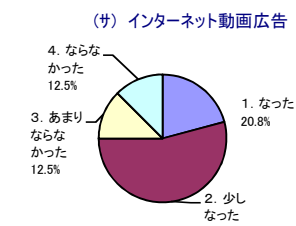
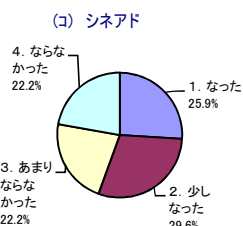
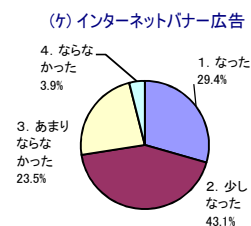
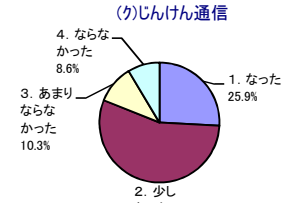
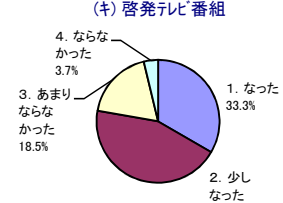
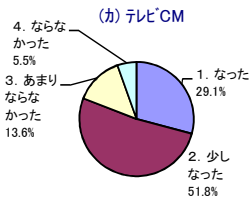
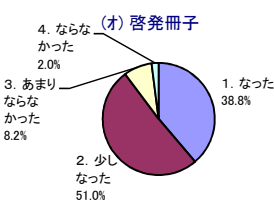
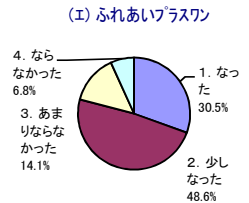
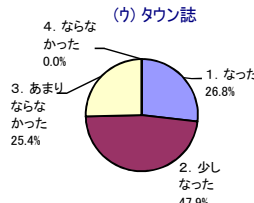
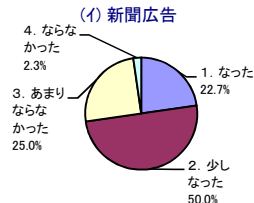
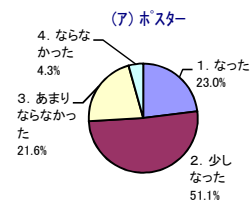


(2)「人権」について考えるきっかけとなりましたか。〔問1-(1)で「1. ある」を選択された方のみ回答〕

	(ア)ポスター		(イ)新聞広告		(ウ)タウン誌		(エ)ふれあいプラスワン	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. なった	32	23.0	30	22.7	19	26.8	54	30.5
2. 少しなった	71	51.1	66	50.0	34	47.9	86	48.6
3. あまりならなかった	30	21.6	33	25.0	18	25.4	25	14.1
4. ならなかった	6	4.3	3	2.3	0	0.0	12	6.8
計	139	100.0	132	100.0	71	100.0	177	100.0

	(オ)啓発冊子		(カ)テレビCM		(キ)啓発テレビ番組		(ク)じんけん通信	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. なった	19	38.8	32	29.1	27	33.3	15	25.9
2. 少しなった	25	51.0	57	51.8	36	44.4	32	55.2
3. あまりならなかった	4	8.2	15	13.6	15	18.5	6	10.3
4. ならなかった	1	2.0	6	5.5	3	3.7	5	8.6
計	49	100.0	110	100.0	81	100.0	58	100.0

	(ケ)インターネットパートナー広告		(コ)シネアド		(サ)インターネット動画広告		(シ)交通広告	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. なった	15	29.4	7	25.9	5	20.8	10	29.4
2. 少しなった	22	43.1	8	29.6	13	54.2	17	50.0
3. あまりならなかった	12	23.5	6	22.2	3	12.5	4	11.8
4. ならなかった	2	3.9	6	22.2	3	12.5	3	8.8
計	51	100.0	27	100.0	24	100.0	34	100.0

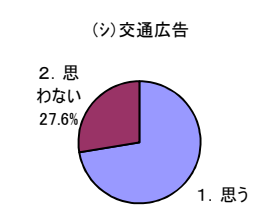
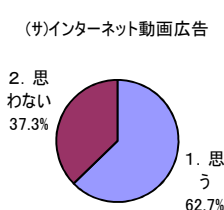
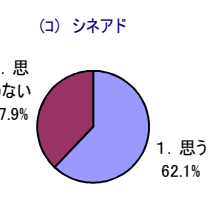
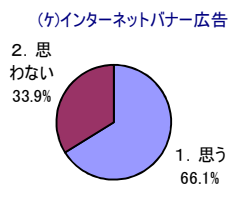
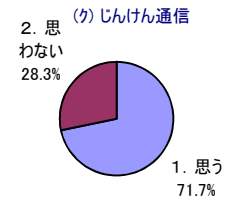
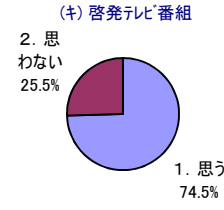
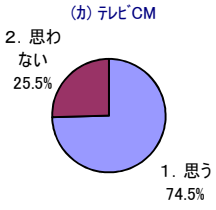
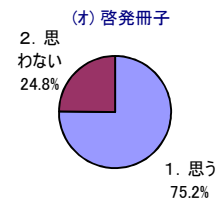
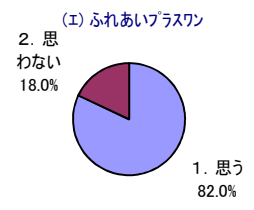
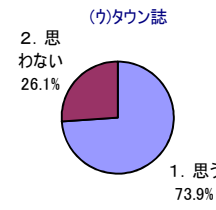
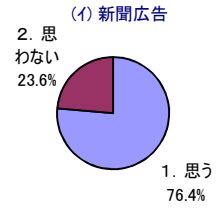
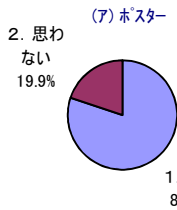


(3) 今後もこのような啓発を行うべきだと思いますか。

	(ア)ポスター		(イ)新聞広告		(ウ)タウン誌		(エ)ふれあいプラスワン	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 思う	258	80.1	246	76.4	238	73.9	264	82.0
2. 思わない	64	19.9	76	23.6	84	26.1	58	18.0
計	322	100.0	322	100.0	322	100.0	322	100.0

	(オ)啓発冊子		(カ)テレビCM		(キ)啓発テレビ番組		(ク)じんけん通信	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 思う	242	75.2	240	74.5	240	74.5	231	71.7
2. 思わない	80	24.8	82	25.5	82	25.5	91	28.3
計	322	100.0	322	100.0	322	100.0	322	100.0

	(ケ)インターネットバナー広告		(コ)シネアド		(サ)インターネット動画広告		(シ)交通広告	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 思う	213	66.1	200	62.1	202	62.7	233	72.4
2. 思わない	109	33.9	122	37.9	120	37.3	89	27.6
計	322	100.0	322	100.0	322	100.0	322	100.0



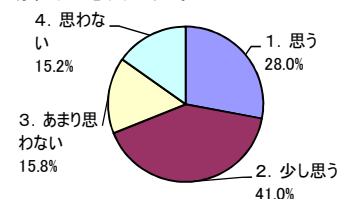
問2

県では、市町や関係機関・団体とともに、9月の同和問題啓発強調月間と12月の人権週間に、駅や量販店等で街頭啓発を行いました。このような街頭啓発は人権問題についての関心や理解を深めるために効果的だと思いますか。
(回答チェックは1つだけ)

	人数(人)	割合(%)
1. 思う	90	28.0
2. 少し思う	132	41.0
3. あまり思わない	51	15.8
4. 思わない	49	15.2
計	322	100.0

街頭啓発

人権問題についての関心や理解を深めるために効果的だと思いますか。



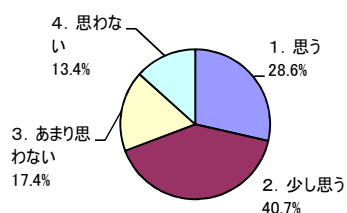
問3

県では、毎年、県民参加型の人権啓発イベント「じんけんフェスタ」を開催しています。この催しは人権問題についての関心や理解を深めるために効果的だと思いますか。
(回答チェックは1つだけ)

	人数(人)	割合(%)
1. 思う	92	28.6
2. 少し思う	131	40.7
3. あまり思わない	56	17.4
4. 思わない	43	13.4
計	322	100.0

じんけんフェスタ

人権問題についての関心や理解を深めるために



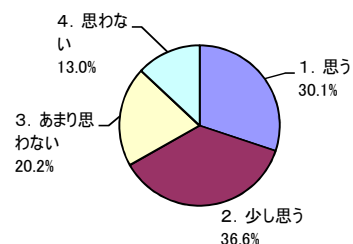
問4

県では、スポーツ組織と連携した啓発活動を行うことで、幅広い層の方々に人権について考えていただくこと、プロバスケットボールチーム「滋賀レイクスターズ」(bjリーグ)および実業団バレーボールチーム「東レアローズ」(V・プレミアリーグ女子)、との連携事業を実施しています。この事業は人権問題についての関心や理解を深めるために効果的だと思いますか。(回答チェックは1つだけ)

	人数(人)	割合(%)
1. 思う	97	30.1
2. 少し思う	118	36.6
3. あまり思わない	65	20.2
4. 思わない	42	13.0
計	322	100.0

スポーツと連携した啓発

人権問題についての関心や理解を深めるために効果的だと思いますか。



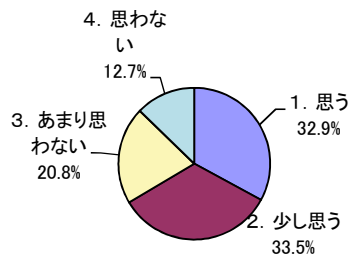
問5

県では、人権啓発キャラクター「ジンケンダー」を制作し、紙面への挿絵、TV番組放送、イベント出演など、広く活用することで、より親しみやすい啓発となるよう取り組んでいます。このようなキャラクターを活用した啓発活動は、人権問題についての関心や理解を深めるために効果的だと思いますか。
(回答チェックは1つだけ)

	人数(人)	割合(%)
1. 思う	106	32.9
2. 少し思う	108	33.5
3. あまり思わない	67	20.8
4. 思わない	41	12.7
計	322	100.0

滋賀県人権啓発キャラクター「ジンケンダー」

「人権」について考えるきっかけとなりましたか。



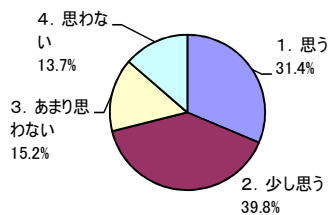
問6

県では、幅広い層の人に人権について考えていただくこと、多くの人が集まる場所に出かけ、ジンケンダーとふれあうステージショーや人権についての紙芝居を上演する「人権ふれあい啓発事業」を実施しています。この催しは、人権問題についての関心や理解を深めるために効果的だと思いますか。(回答チェックは1つだけ)

	人数(人)	割合(%)
1. 思う	101	31.4
2. 少し思う	128	39.8
3. あまり思わない	49	15.2
4. 思わない	44	13.7
計	322	100.0

ふれあい啓発事業

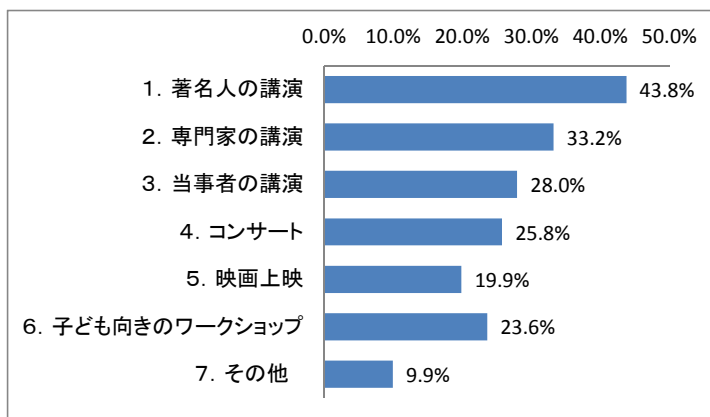
人権問題についての関心や理解を深めるために効果的だと思いますか。



問7

人権に関連したどのような内容であれば参加したいですか。(複数回答)

	人数(人)	割合(%)
1. 著名人の講演	141	43.8%
2. 専門家の講演	107	33.2%
3. 当事者の講演	90	28.0%
4. コンサート	83	25.8%
5. 映画上映	64	19.9%
6. 子ども向けのワークショップ	76	23.6%
7. その他	32	9.9%



問8

今後、より効果的な人権啓発を実施していくためのご提案・ご意見があればお聞かせください。(問1～7までにお答えいただいた理由や今後さらに活用すべき媒体、新しい手法、改善点など)(任意)

(回答をいただいたご意見の中から、一部をご紹介します。)

・インターネットの普及により、顔が見えない中での誹謗中傷が氾濫し、傷ついている方が沢山いる。ネットの利用が当たり前になっている低年齢層に対して、その痛みが理解できるような人権啓発が実施されればと思う。

・年配の方にはyoutubeや広告バナーなどは見る機会が少ないかもしれないので、やはり実際に集まって話すことも大切だと思います。

・小さい子供から高齢者まで時々を考え行動を起こすことが大切です。みんなが学習して実践してより住みやすい社会を作っていきましょう。その為に行政と住民が一緒になって色々な取り組みをしていく必要を感じます。

・こうした活動は効率を優先せずに、できることはすべて地道に続けていくべきだと思う。

・すぐに結果のするような活動はないと思うので、粘り強く取り組みを続けて、絶えず人権についてどこかで何か広告されているように地道に行っていくしかないと思います。

・人権に特化したイベントの開催は、まったく必要ない。
数多く開催される、県内のイベントに、開催月にとらわれず、ジンケンダーなどを派遣し、啓発活動を行なうべき。
スポーツチームだけではなく、ショッピングモールでの、芸能イベントなどの、冒頭5分に参加とか、お金をかけず、露出が増えるように願いたい。

・県民それぞれ世代や生活環境等でも利用するメディア媒体は異なりますし、複数の媒体を通した啓発の方が効果はより高いと考えます。従って基本的に人権啓発は出来る限り様々なメディア媒体を活用して行うのが良いと考えます。
そのうえで、やはり子供たちに対する教育をまず充実させ、子どもから親世代への意識改革を図っていくのが効果的ではないかと考えます。

・講演やイベントをもっと増やすべきだと思います。
子どもを連れて気軽に参加しやすいものであれば、周知されていくと思います。人が多く集まる商業施設などや、商店街、スーパーなどの街頭であればよいです。

・テレビや新聞、広報で人権問題・人権を大切にしている人や組織を紹介し、当事者からの要望と人権を守る手本を紹介することがよいと思います。

・人権啓発の効果がすぐに出ることはないかもしれないが、時間をかけて、何度でも繰り返して続けるものだと思う。

・ジンケンダーを使った啓発は、年寄りから子供まで幅広い層に興味を持ってもらえるので、効果的であると思う。
TV広告やネット広告は費用対効果を考えると、費用がかかりすぎるのでは？

・財政が豊かであればいろいろしたらよいと思いますが、費用もかかるので、効果的なものに厳選して活動してもよいのではと思います。

・「人権」を一括りにせず、いじめ、セクハラ、パワハラなど、身近な問題をテーマにするといいいのでは？

同和問題に偏りすぎていませんか？

・人権擁護は民主主義の基盤を築くものだから、我々の精神活動の基本となる。常日頃お互い尊敬しあう心が必要。そのためには幼児からの教育が不可欠。人を見下す心を抑え、人を常に尊敬する精神基盤を育成すべき。学校での、偏りの無い教育に期待したい。

・子供の時から人権問題を学ぶことが、一番大切な事だと思う。
その点で、親しみやすいキャラクターのジンケンダーを使った啓発活動はとても効果的だと思う。県内の保育園・幼稚園・小中高校を回り、啓発してほしい。

・現代社会が抱える、いじめやパワハラなど時代のニーズを反映した啓発に重点を置いた活動にかえていくべきではないでしょうか。

・子供でもわかりやすく、取っつきやすい内容ですと、親子一緒に学べるので、有り難いです。近くの公民館や公共施設など、気軽に立ち寄れる場所で、紙芝居や人形劇で、親子一緒に学びたいです。

・人権という呼び名が、具体的に心にさざらなく、何気に軽く流してしまえそう。各テーマを直接投げかけられると、例えばポスターを見かけたとき、子供に話したり意見を聞いてみたりするきっかけになるのだと思うのですが、人権という総称だとなかなかそこまで日常に入り込みません。